【専門分野】

科目名	母性健康論	講師名	岡山医療センター医師A(10) 岡山医療センター医師B(10) 岡山医療センター医師C(10)	学年	2	履修期	第1学期
単　位	1単位						
時間数	30時間						
授業概要	妊娠のメカニズム、分娩、産褥、新生児の身体的変化及び正常な経過と異常を学ぶ。						
授業科目目標	1．周産期にある妊娠・分娩・産褥、新生児の正常な生理的変化について理解できる。 2．周産期にある妊娠・分娩・産褥期における疾患や治療について理解できる。 3．周産期における医療システムの現状について理解できる。						
授業計画	1回：妊娠の成立（ホルモン動態含む）　講義 2回：正常な妊娠の経過　講義 3回：胎児心拍数モニタリング　講義 1）胎児心拍数図の判読とその意義 4回：分娩の3要素と分娩の経過　講義 5回：産褥の経過　講義 6回：新生児の生理的特徴　講義 7～8回：妊娠期の異常　講義 1）妊娠疾患 （妊娠悪阻、切迫流早産、妊娠貧血、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、血液型不適合妊娠など） 2）多胎妊娠（双胎間輸血症候群など） 9～10回：分娩期の異常　講義 1）産道の異常（狭骨盤、軟産道強靭） 2）娩出力の異常（微弱陣痛、過強陣痛） 3）胎児及び付属物の異常（胎児の発育および形態の異常、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、羊水過多症） 4）異常分娩 （前期破水、分娩遷延、吸引分娩、帝王切開術、異常出血） 11回：産褥期の異常（弛緩出血、子宮復古不全）　講義 12回：妊娠期の感染症　講義 13回：出生前診断　講義 14回：周産期医療のシステム　講義 15回：終了試験						
評価方法	筆記試験						
テキスト	1．系統看護学講座　専門分野　母性看護学［2］ 母性看護学各論，医学書院.						
学生へのメッセージ	既習の解剖生理学を想起し、妊娠、分娩、産褥、新生児の正常な生理的変化をしっかり理解しよう。異常の予防や観察ポイントもおさえて下さい。 【関連科目】解剖生理学Ⅳ						